

~旧1市3町の心を1つに~ 第1弾 三原市合併10周年に向けて~Restart



はじめに

今から約8年前の2005年3月22日に旧1市3町が合併して新しい三原市がスタートを切りました。そして、2年後の2015年には合併10周年という節目の年を迎えることになります。旧1市3町がそれぞれの特色を表面に出しつつ、三原市民としてこのまちの発展をこれまで以上に考えてゆく必要があると考えます。広報委員会では、この機会を三原がオーリーフンのまちへと発展してゆくための好機と捉え、様々なアイデアを1年間発信してまいります。その第1弾として、今月は合併の経緯や課題等を取り上げます。

三原市合併の背景

1999年以来、社会・経済状況を背景に、国主導で全国的に市町村合併が推進されました。多くの方々が存じの「平成の大合併」です。これにより、1999年と現在を比べると全国的にも市町村は半減、広島県内に至っては4分の1程度まで減ることになりました(表1参照)。

三原市もこの「平成の大合併」の流れの中、行政に任せるだけなく広域まちづくり研究会や「市民による合併を考える会」を発足し、住民自らが合併問題に向かい合って新しいまちについて検索し行動しました。そして、2005年3月22日に当時の三原市・本郷町・久井町・大和町の1市3町が合併し、現在の三原誕生に至りました。

合併による効果と課題と三原市

この平成の大合併における効果と課題について皆さんはどのように感じているのでしょうか。総務省の「平成の大合併」において(2010年3月5日公表)によると、効果としては住民サービス提供体制の充実強化や少子高齢化への対応など、課題としては周辺部の旧市町村の活力喪失、住民の声が届かないことによる経済不況・財政の悪化、衝止めのきかないうつ人口減少・少子高齢化等、周辺地域は活力を失ってゆき、これがまたおほかげで地域の伝統や文化にも徐々に失われてしまっています(表2参照)。

この公表から疑問を抱く方も多くいるのではないかでしょうか。住民サービス提供体制の充実強化に効果があるのに対して、住民の声が届きにくくなっていることや住民サービスの低下なぜ課題として挙げるのでしょうか。全てとは言えませんが、総じてここに挙がっている課題は合併によってより一層顕著なものとなり、これは事実であると考えます。

この公表の内容は、今の三原市にもそのまま当てはまるのではないかでしょうか。もちろん合併したことによるメリットはあるですが、景気の低迷による経済不況・財政の悪化、衝止めのきかないうつ人口減少・少子高齢化等、周辺地域は活力を失ってゆき、これがまたおほかげで地域の伝統や文化にも徐々に失われてしまっています(表2参照)。

三原市が三原市であり続けるためには、旧1市3町が力を合わせて将来を描き、共に活動する原動力が必要ではないでしょうか。

表1 平成の大合併・市町村数推移(全国)

	1999年4月1日	2012年10月1日
市	671	788
町	1990	747
村	568	184
市町村	3229	1719
市町村		

表2 合併による効果と課題(総務省公表「平成の大合併についてより抜粋」)

効果	課題
①住民サービス提供体制の充実強化	①周辺部の旧市町村の活力喪失
②少子高齢化への対応	②住民の声が届きにくくなっている
③地域的なまちづくり	③住民サービスの低下
④適正配置や施設の統合による行政効率化	④旧地盤の伝統・文化・歴史の喪失

小早川家で繋がっている!?

三原市には旧1市3町の地域に合併前からの共通の歴史があります。例えば、旧久井町には県指定重要文化財「大和若狭六百巻」、旧大和町には「応海山檀木真寺」、旧本郷町には「高山城」「新高山城」、そして旧三原市の淳城とも呼ばれた「三原城」。これらが共通する歴史とは「小早川家」です。

このような共通のアイテムがありますが、旧三原市民・旧久井町市民・旧本郷町市民・旧大和町市民がそれぞれの地域がもつていて伝文化に心を寄せていているのでしょうか。旧三原市民は今まで通り自分たちは三原市民だと感じていると思います。

が、旧3町の市民は、自分は三原市民である感じしているでしょうか。例えば、旧久井町の市民は旧本郷町の伝統や文化に关心を持たれているでしょうか。また旧3原市民は旧大和町の伝統や文化に心を寄せているのでしょうか。自分たちの地域の伝統を守ることはもちろん大事なことです。が、この「小早川家」をキーワードとして、地域の分け隔てなくお互いが協力することで一体感が育まれ、三原市民の想いを1つにして気持ちを盛り上げてゆく必要があると考えます。

互いに力を合わせよう

私たちはお互いに心を持つた自分たちの生活範囲の地域のことだけを考えています。この経済不況と少子高齢化の流れと共にこのまちは衰退、都市競争に勝ち残れないのではないかと懸念しています。三原市全体において共通の資源である小早川家の力を絞り、この資源を各地域の住民が力を合わせて磨き上げることで地域の伝統を次世代へ継承することにつながる。オリーブのまち三原を創る原動力を生むことができる確信しています。

連載企画 まちの未来を選択しよう 第1弾

公開討論会でまちの未来を考えよう!!

三原市は本年、投票日を4月14日(日)とした市長選挙・市議会選挙が行なわれる予定です。今回の選挙はこのまちの新たなリーダーを選出する極めて重要な選挙と言えるのではないかでしょうか。そして、有権者である市民には立候補予定者の考え方や政策等を聞くことでできる多くの機会があると考えています。今月号では、その一つとして昨年の第46回衆議院選挙でも全国的に開催された公開討論会について取り上げます。

公平公正の討論会!!

昨年12月に行なわれた第46回衆議院解散総選挙。この選挙において、公益社団法人 日本国年会議所は公示日前に各選舉区での公開討論会を開催を働きかけ、その結果全国300か所選舉区のうち150か所以上で開催されました。公開討論会は立候補予定者の発言時間を均一に制限することや平等に発言権を提供することなど、有利不利がないように公平公正に行なわれなければなりません。このような中ではあります。20代から30代世代からは「選ばなくなつてもう1票」よくからない!興味がない人の理由のため投票に行かないという耳に立てることがあります。これから将来を担う世代や投票権を握る多くの市民が、市長選挙でリーダー選択の判断基準を得ることや市政にもより関心を持つ機会の一つとして公開討論会の開催が必要であると考えます。

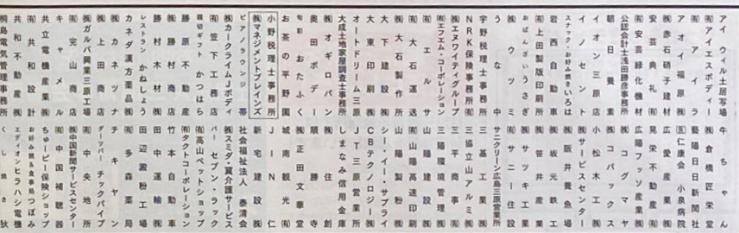
聴くことから一票へ

前回2009年に行なわれた市長選挙は、無投票再選。市議会議員選挙もこのままの投票率となりそうです。投票率は2001年が70%以上、2005年が60%以上というデータが選舉管理委員会から示されていますが、有権者の選挙への関心は他の市と比較しても決して低くはありません。そのような中ではあります。20代から30代世代からは「選ばなくなつてもう1票」よくからない!興味がない人の理由のため投票に行かないという耳に立てることがあります。これから将来を担う世代や投票権を握る多くの市民が、市長選挙でリーダー選択の判断基準を得ることや市政にもより関心を持つ機会の一つとして公開討論会の開催が必要であると考えます。

三原の若者に聞きました



本連載企画では4月に行なわれる三原市長・市議会議員選挙でまちの未来を考えるポイントの一つ位置づけ、少しでも多くの市民が市政への関心を持ったための様々な機会の必要性を訴えてゆく予定です。次号では今回取扱った議論の結果をまとめて、市長選挙についてより詳しい内容を掲載します。



本紙では、毎月、三原市内のさまざまな場所で開催される各種のイベントや講演会、展示会などを紹介する欄です。この欄では、三原市内の文化・芸術・スポーツ・健康・教育などの多様な活動情報を発信します。また、三原市内の最新情報や、三原市が取り組む取り組みについても紹介します。

三原市は、毎月、三原市内のさまざまな場所で開催される各種のイベントや講演会、展示会などを紹介する欄です。この欄では、三原市内の文化・芸術・スポーツ・健康・教育などの多様な活動情報を発信します。また、三原市内の最新情報や、三原市が取り組む取り組みについても紹介します。

三原のゆるキャラ誕生にむけて！？ 第1弾

ゆるキャラが熱い

近年、イベント・キャンペーンや地域おこしのキャラクターとして様々な地域で「ゆるキャラ」が誕生しています。「ゆるキャラグランプリ2012」では全国47都道府県から5865名の「ゆるキャラ」が参加し、広島県から14名が参加した結果、竹原市の「かぐわんぱく」が120点となり、県内一一番の得点率を得ました。この「ゆるキャラ」は三原市でも、市のイメージアップやまちづくりの一環として作ってみてはいかがでしょうか。三原市には多くの観光資源と歴史文化がありますのであるだけではまちの活性は生まれません。今ある資源をしっかりとPRしてゆくことが必要ではないでしょうか。そこで広報委員会では、全国的に地域情報を発信できるようなみんなから愛される三原市の「ゆるキャラ」誕生に向けての可能性を模索してゆきたいと思います。

三原のゆるキャラ



三原市には、このことから「ゆるキャラ」にはまちづくりの大好きな可能性を秘めていると考えます。

ゆるキャラの作り方

「ゆるキャラ」誕生への経緯はそれぞれの地域によって違うようです。自治体からの公募による選出、観光協会からデジイチナーへの委託、地域の団体アピールのため自ら提案したものを県が受け入れる「パーソンなどさまざまです。

三原市には、2015年に新三原市合併10周年

「ゆるキャラ」って何？！

「ゆるキャラ」とは「ゆるいマスコットキャラクター」の略で、イベントやキャンペーンや地域おこしなど、地域全般のPRに使用するマスコットのことです。漫画家によってセレクトしたキャラクターを担当する専門家として有名なみなみうらじゅんさんが監修したとされ、「ゆるキャラ」に必要な条件として三つの条件を挙げています（下表参照）。この条件の中に「郷土愛」が含まれていることから、地域おこし、まちづくりの要素が強いと感じられます。

＝「ゆるキャラ」の三力条＝

1. 郷土愛を満ち溢れた強いメッセージ性があること。
2. 立ち居振る舞いが不安定かつユニークであること。
3. 要するべき、ゆるさ、を持ち合わせている事。

<p>やっさもっさ(伝言板)</p> <p>3月号予告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急突撃アンケート～久井編～ ・ゆるキャラ誕生に向けて第2彈～今治市現地取材～ <p>やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。</p>	<p>社団法人 三原青年会議所 公式ホームページと公式Facebookをご存じですか？ご興味ある方は下記URLからアクセス!!</p> <p>ホームページ(事業告知に組織情報、WEB版やっさもっさ等) http://www.mihara-jc.com/ 三原JC 検索</p> <p>Facebook(活動状況やメンバー紹介を随時更新!!) http://www.facebook.com/miharajc</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

JCI 社団法人 三原青年会議所新聞 第410号 2月号

発行日 2013年2月25日

やっせんじゅく

4月3日はボボロに集合!!

~観て・聴いて・考えて公開討論会開催!(予定)~

日 に ち：4月3日水曜日(予定)

場 所：三原市芸術文化

セ ン タ ボボロ

開 場：18時30分～

開 会：19時00分～

21時00分

入場料無料

*先着1100名様限定

社団法人 三原青年会議所では本年4月に開催される三原市長選挙に向けて、公開討論会を企画しています。公開討論会では、立候補予定者に政策や考え方を発表して頂き、三原市の有権者に投票時の判断材料を得て頂くと共に、三原の未来について考えて頂くことで市政やまちへの関心を高めることを目的としています。

*公開討論会の簡単な概要については下記参照

テーマ別の討論

三原のまちの課題や将来像など、質問に答え
ていただきます。

○×質問

趣味やや傭の生活等について答えてもらい、性別や人間性を知ることができます。

事前公募質問

事前に市民より公募し
た質問に対して討論を
交わしてもらいます。

*このイラストはイメージ図です。
2月25日時点での候補予定者の人数は決まっておりません。

候補予定者の考え方や政策を知ることで、有権者は投票時の判断基準を得ることができます。



連載企画 まちの未来を選択しよう 第2弾

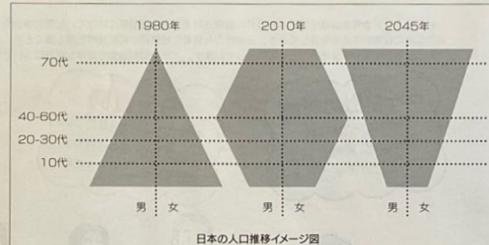
あなたの一票が元気な三原をつくる!!
～若者たちよ選挙に行こう～

先月のやさしさを1月号では、～まるの未来～を選択しあう！第1弾で「三原の若者に会いました」の欄で実際に若者に聞いた声を掲載致しました。その中には「興味がないからわからない」「誰がなっても一緒」という理由で選択に行かないとこうしたことでした。しかし、本当にそれで良いのでしょうか。若者が自分たちのまちのリーダーとなる人を自分自身で見極め、国民の権利である投票という行動に移すことができる。そこからまちの良さや魅力が生まれる。そこで今月号では、なぜ若者が選挙に行かなければいけないのかを考えています。

今と昔ではここが違う

右表をご覧ください。この表は男女年齢別に入門種目登録イメージを表したものでした。1980年にはほぼピラミッド型になっていたのにに対し、2010年には上部と中間部分が柔軟に流れ、2014年の予想では、逆ピラミッド型になってしまったことがあります。ここから読み取れるることは、以前は若者の人口が多くたったの対象層が、今では小さくても若者の有権者人口が大きく多く、若者の声が現在も政治家や候補者に届きやすい時代でした。しかし、現在は若者の人口が少なくなってしまっていまして、若者の投票権者も投票数も全くない状況になってしまっています。これでは選挙にまで来なくてよい、というようすがどうぞ想えます。

第45回衆議院選挙投票率	
年 齢	投票率(%)
70代以上	71.06
60代	84.15
50代	79.69
40代	72.63
30代	63.87
20代	49.45



若者の投票率が低い

政治家や立候補者の最初に果たすべき目的は選舉での当選や議席の獲得です。そのために、投票率が高く多くの人の多い高齢層を意識した政策なりがちです。有権者の中でも、高齢者はお金や財付などに心が開いて、がむに述べたる財政面の問題は低く、若者を取り巻く環境は、不安な面が多いと見られますが、年金や結婚や子育てなど、や先を見えない年金や結婚や子育てなど、不思議な人ばかりでなく、45歳回帰議院選挙投票率(表左参照)のように20代になってから49.45%と低い投票率をさらに使うように、投票に行くことへの意識が薄れて高いとは言えません。これでは、高齢層に向けて政策にならうとしても文句を言えないのではないかでしょうか。

投票は市民の権利

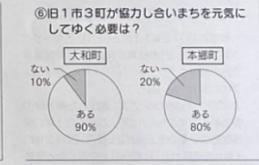
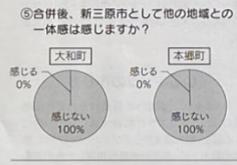
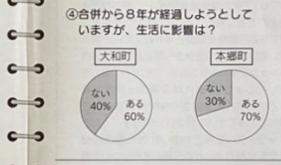
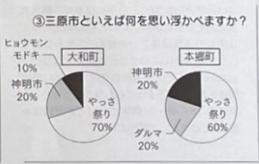
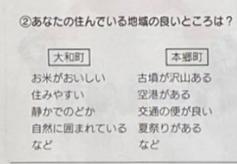
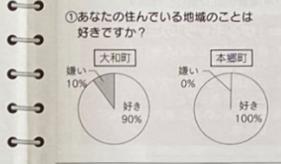
我々有権者は投票という権利があります。この権利があるにも関わらず、「選択がないやうで投票しない」という理由で投票に来ないではないでしょうか。そうではなく、自らがまの市の財政に貢献をもたらし候補者の考え方や政見を聞くことで、どの候補者が賛同できるかを自分自身で考える必要があります。そしてその結果、投票用紙が白紙になってしまったとしてもそれが1つの答えかもしれません。しかし、面倒だなと理屈だけだと投票に行けず、ただ言ふ言葉は聞いているのではないかでしょうか。実際に選舉に間に持ち、投票という権利で自分の意思を示すことが、明るい未来の三原への第一歩になるとを考えます。

広報委員会連載企画 ~旧1市3町の心を一つに~ 第2弾

緊急突撃アンケート!市民の声を聞く!! ～大和町・本郷町編～



広報委員会では、「～旧1市3町の心を1つに～」と題しまして、やっさつもって1月別に三原市合併10周年を迎える年の好景を捉え、このまでのこれまで以上の発展を考える必要性と各地域が分け隔てなく互いに協力し合ことで一体感をくみ、三原市民の心を1つにしてまとめて盛り上げてゆく必要があることを訴えました。そこで2月号で、他の地域との一体感は感じているのか、互いに協力し合ひまことに元気にしてゆく必要性を感じているのかを今回は和町と本郷町にて20代から60代の方々にアンケートを実施し、実際の状況を聞いてみました。



自分たちの地域は好き

まず今回のアンケートで、ほとんどの方が自らの地域の事は好きだと言うことを改めて感じました。そして、地域の良いところについては、大和町では住みやすさや自然の多さや食べ物について、本郷町では交通の利便性や夏祭りに関する答えが多い結果となりました。

一体感は感じないが協力する必要はある

合併後、他の地域との一体感は感じますかといふ質問に対しましては、誰一人として感じると答

えた方にはいませんでした。これがこの町の現状です。他の地域のところについても聞いてみましたが、「わからない」思いきばないという方が多かったのは残念に感じます。まずは互いの地域のことを知ることから始める必要があるのかかもしれません。しかしながら、「ほんとの力」を發揮する元気な町を元気にしてこそ必要があると感じました。まさに元気がないことに危機感を持つおられる方々多く、「名品産のPRをもっとほしい」「市民参加のイベントをもっと盛り上げてほしい」「駅前をなんとかしてほしい」と言ふ声がありました。

意外と多かった「やっさ」の声

今回は大和町と本郷町にお邪魔し、アンケートを実施いたしましたが、自分たちの地域が好き嫌いというよりも多い中、自分たちの地域のお祭りやお産品の名前が上がると思っていました。しかしながら、今回取材時にアンケートを行なった一部の方々ではありますが、両地域に共通して三市合戦を考える「やっさ祭り」という声が多く上がっていました。

次回では久井町において現地取材に向かい、アンケートの実施を予定しています。

広報委員会連載企画

～旧1市3町の心を1つに～ 第3弾

緊急突撃アンケート!

市民の声を聞く!!

～久井町編～

広報委員会では、1月号にて三原市合併10周年を迎える2年後を好機と捉え、三原市民の想いを1つにしてまちを盛り上げてゆく必要があることを訴えました。そこで2月号の大和町・本郷町に続き今月は久井町を訪問し、地元の声を聞いてきました。

観光資源を活かしたい

前号の大和町・本郷町編に続き、今回のアンケートでも大半の方が「自分たちの地域のことが好きである」という答でした。また、久井町の良いところを教えてくださいといふ質問に対しては、「裸祭りや岩海・天神など自然と観光に関しての答えた多い結果になりました。しかし、上手くPRできればもっと多く集まるのではないか」「若い人にもっと盛り上げてほしい」「文台への道を整備してほしい」など、現状不満を持たれており、やはり良いものにしてほしいといった声が上がっていました。

①久井町のこと好きですか？

嫌い	5%
好き	95%

②久井町の良いところを教えてください。

裸祭りがある
岩海や天文台がある
お米や野菜がおいしい
自然に囲まれている
久井稲荷神社からの景色など

③三原市といえば何を思い浮かべますか？

裸祭り	5%
神明市	25%
やっさ祭り	65%

④合併から8年が経ちますが、生活に影響は？

ない	50%
ある	50%

⑤合併後、他の地域との一体感は感じますか？

感じない	5%
感じる	95%

⑥旧1市3町が協力し合いまちを元気にしてゆく必要は？

ない	10%
ある	90%

■互いに関心を持つとう

今回の取材においても、他の地域と協力し合いま

るを元気にしてゆかなければならぬという意見が多く上がりました。他の地域のことは「知らない」や「あまり関心がない」という意見が多く聞かれました。地域同士がお互いに関心を持つためには、1人ひとりが他の地域を意識すること、繋がりを持つ第一歩であると考えます。

■熱い想いをまちの活性化へ

今回は久井町にお邪魔しましたが、久井町でも三

原いえば「やっさ祭り」という声が多く上がっていたように思います。そして印象に残ったのは裸祭りへの意気込みや熱い想いを語らっている姿です。この熱い想いを三原市全員のまちづくりに向けてこどがでければ、まちの活性化に繋がってゆくのではないかでしょうか。

やっさもっさ伝言板

4月号予告

『三原市の心を1つに』

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

やっさもっさチャンネル

社団法人 三原青年会議所 公式ホームページと公式Facebookをご存じですか？ご興味ある方は下記URLからアクセス!!

ホームページ(事業告知に組織情報、WEB版やっさもっさ等)

<http://www.mihara-jc.com/> 三原JC 検索

Facebook(活動状況やメンバー紹介を随時更新!!)

<http://www.facebook.com/miharajc>

一緒に三原を元気にしよう！

(社)三原青年会議所では新規会員を募集しています！

入会資格…年齢35歳以下

性別不問、三原市内及び近郊に在住、勤務されている方

入会方法…詳しくは、右記お問い合わせまで

お問い合わせ先

社団法人 三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原工商会議所内

TEL：(0848) 63-3515 FAX：62-1141

Eメール info@mihara-jc.com

自分で見て判断しよう!

～三原市長選挙における公開討論会開催～

三原青年会議所は4月3日(水)三原市芸術文化センターがボロ口にて三原市長選舉における公開討論会を開催します。私たちは2009年以來、日々振り返りながら行われる三原市の市長選挙を、今後の三原のまちづくりを託す新たなリーダーを退出する極めて重要な選挙と位置づけており、この開催討論会を開催することで多くの市民のみなさまが立候補予定者の政策や考え、取り組みなどを聞くことで、投票時の判断基準の一つにしていただきたいと考えております。

※この公開討論会は公平・中立を原則としており、特定の立候補予定者のためのものではありません。

公開討論会の概要

「どの様な三原を目指し、三原のあるべき姿」をどのように描いているか。立候補者予定者にはそれに向かうための具体的な政策や考えを主張していただけます。発言は進行役で中立の立場であるコーディネーターがテーマを指定した後、発言者を指名し、指名された立候補予定者が決められた発言時間以内に発言します。

- 【テーマ】
・問一答による討論
・駅前再開発について
・雇用創出に向けて
・子育て環境について
・事前に公募した質問
・一般市民から公募した質問
クロストークによる討論
・候補者同士でお互いの主張を交わす

●会場にお越しの皆様へのお願い●

1. 会場周辺や会場内の特定立候補予定者のポスター・ビラ・パンフレットなどの配布を行わないようお願いいたします。また宣伝カーナーでの討論会に関する特定立候補予定者の応援・批判をなさらないようお願いいたします。
 2. 会場の外壁・内部にポスターなどを貼らないようお願いいたします。
 3. 討論会中に特定立候補予定者への応援、もしくは批判する行為(拍手・ヤジ等)をなさらないようお願いいたします。
 4. 特定立候補予定者をイマイジづけるまた、支援する道具(録巻・Tシャツ・ゼッケン・看板・幕など)の使用はご遠慮いただきます。
 5. 会場内の危険物の持ち込みをなさらないようお願いいたします。
 6. 防災上、席座に座らず立ち見をするといった行為はご遠慮願います。

*上記のルールを守っていただけない場合は、主催側の判断により、警告後、直ちに退場していただく等の措置をとらせていただきます。これは、この討論会を公平中立かつ合法的に行なうためでございますので、ご理解ご協力の程よろしくお願ひいたします。

e-みらせんって知っています？！

おみやげって何?

立候補予定者の動画も個別に撮影してアップロードします。また、動画の公開期間は4月1日から



二 間質方法

- ①当会議所ホームページにアクセス
 - ②「e-みらせん」のバナーをクリック
 - ③閲覧希望の立候補予定者をクリック
 - ④政策動画を再生

e-みらせん 検索

動画内容について

市長選挙における公開討論会はもちろんのこと、市長選挙と同時に開催される市議会議員選挙

高富屋、不動産、マツコ、化粧品等の専門店等が並んでいます。また、アーティストの公演会場や、音楽堂、映画館、書店、飲食店等が並んでいます。

三原のゆるキャラ誕生にむけて!? 第2弾

え ひ て

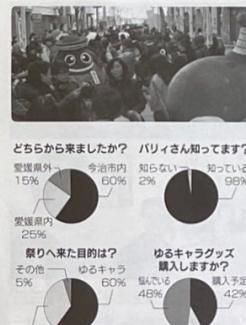
今治ABC祭へ現地取材!

九三

茨城県今治市の今治商店街で開催事「えひきざれ」に合わせて開催されている今治市中心部にぎわいを呼ぶお祭りです

広報委員会は本紙2月号にて、三原市の観光資源と歴史文化をPRするための1つのアイテムとして三原市にも「ゆるキャラ」を制作してはどうかという提案を致しました。今月号では、昨年「ゆるキャラグランプリ2012」でグランプリを獲得した「パリ」とさんで有名な愛媛県今治市で現地取材を行ない、その内容を取り上げます。

当社は今治ABC祭が開催されており「パリさん」だけでなく約50体の全国各地の「ゆるキャラ」も参加しているということでおおむね賑わいでした。私たちはこの祭りの中で、一般来場者50名の方にアンケートの実施などを行ない「ゆるキャラ」の効果について調査しました。



地域	割合
東京圏外	15%
東京圏内	85%
うち 今市内	60%

目的	割合
自分用	45%
贈り物	42%
業務用	10%

『ゆるキャラ』は地域の象徴

祭りに参加された各地域のブースの方に「ゆるキャラ」をアピールの機会を聞いてみました。多種多様な理由でしたが、大きく分けると、昔からあった「キャラ」とそれから「ゆるキャラ」がチームの流れを受け町おこしの為に制作された地域もありました。実際の制作過程は、各地域の県、市・町・商工会議所がメインになり、公募でアイデアを集め、それをデザイナーがキャラにならのようにアレンジを加えようですね。もう一つとして、プロデューサーにお願いしてほぼ制作段階で「キャラ」を創ること大きな二分けるこの二種類でした。どちらにも共通していたことは各地域の特徴を盛り込むことを基本に制作されたことです。

第38回三原やっさ祭り実行委員長挨拶

この度、当初決定していた萩路新氏より第38回三原やっさ祭り実行委員長を引き継ぎ、務めさせていただきました桜井耕一と申します。どうぞ宜しくお願い致します。第38回三原やっさ祭りは、多くの人が自分ではない人の笑顔に喜びを感じる事の出来る祭りにして行きたいと思います。その為に、私たちスタッフは踊り手の方々が少しでも楽しんで踊れるよう、観客の方も参加しやすい環境づくりに努め、踊り手の方々が少しでも楽しんで踊れるよう、観客の方が少しでも観覧しやすいよう尽力したいと思います。第38回三原やっさ祭りに深いご理解とご協力、また多くの方の参加を賜りますよう宜しくお願い致します。



災害時へ備える!JC-AIDのご紹介

2011年の東日本大震災の発災後、(公社)日本青年会議所は全国各地の青年会議所に呼びかけ、多くの支援物資を集め、どこよりも早く被災地に物資を送り届けました。しかしながら、荷物を輸送する際、荷物が均一でなかったため積み込みに苦労したことや中身の表示がなかったため仕分け作業に困難があつたなど課題がありました。その課題を解決し、災害時の備えにもなる全く新しい防災システムとして全国の青年会議所が取り組んでいます。JC-AIDを紹介します。

販売価格 1個 5,000円
(約2名が2日間活躍するための物資がセットされています)

お届け方法 指定場所へ配送

お問合せ先 (社)三原青年会議所事務局
(本ページ右下参照)

JC-AIDの特徴

- 1.パッケージに一梱式の支援物資を詰込むので仕分けが不要。
- 2.有事の際にすぐに使える、すぐ送れる(荷造り不要)。
- 3.外箱のサイズが均一なので積み込みや取り出しが簡単。

JC-AIDの活用方法

- 万が一の場合ができる
他の地域が被災した場合被災地へ支援物資にして送る
4年間もなかった場合は海外必要としている場合に送る
1、「JC-AID」を全国の家族や事務所に常にいただき、購入の際に日本JCIに保管地区と保管者へのメールアドレスを登録。
2、発災した場合は、被災地以外の地区に運搬されたマーカードレス等に資料を記入しておき、
3、集積された「JC-AID」は三原やっさ祭りに届けられ、地元の青年会議所を中心に被災地へ搬入されます。
つまり自分がこの被災地に立ちこまるとそれを使いやすい。他の地域で被災した場合には被災地へ支援物資としてすぐに送れるといわれています。
学校や各企業などで準備にも大きくなれます。
職場、各種団体・地域コミュニティでも「JC-AID」の輪を広げ、日本全国で起きた機会に備えましょう。

岩手県大槌町安渡小学校より 支援活動への感謝の手紙

先日、当会議所にて岩手県大槌町立安渡小学校から葉書と写真が届きました。内容は私たちが行った震災復興支援活動に対するお礼と願いのお知らせでした。私たちは震災直後から義捐金募集中や物資供給、現地でのハドロ除去などの支援活動を行なってきました。安渡小学校への支援としては現地へ支援活動に赴いた事、事前に校長先生からお話を伺った授業で必要な物質を提供しました。また、昨年当会議所が実施した事

業の「笑顔デザインプロジェクト」では大槌町の小学生を三原に招待して、やっさ祭りでやっさ踊りを体験していただきましたなど楽しい時間を過ごしていただきました。この度、安渡小学校は閉校となりましたが、少しでもお役に立てたのではないかと思います。被災地の復興にはまだ時間がかかります。引き続き、私たちはできる限りの支援を行ない、一刻も早い被災地の復興を心より願っています。



平成22年3月もやって開校します。
136年歴史に「やっさ祭り」など
なります。(何年も前にさまで
おじいさんたちが「やっさ」と呼
んでいました)「やっさ」とは
おじいさんたちが「やっさ」と呼
んでいました。青年会議所のやっさ

祭りは、おじいさんたちが「やっさ」と呼んでいました。

大槌町立安渡小学校のやっさ祭り

は、おじいさんたちが「やっさ」と呼んでいました。

今年も子どもやっさに 参加したい!!

昨年度初出場、深小学校の子ども達に聞いた子どもやっさの感想

「子どもやっさ」に昨年初出場した深小学校の子ども達に参加前と参加後ではどのような心地の変化があったのかを調査するため、実際に「子どもやっさ」に出場した深小学校の子どもたちと保護者の方に感想を聞いてきました。



竹野 龍二君(当時6年生)

中串 真悠ちゃん(当時6年生)

中串 帆稀君(当時6年生)

奥長 千尋ちゃん(当時5年生)

子ども達の感想

初めて參加した感想は?

龍二君 すごく良い思い出になりました。新人賞のアナンスが流れた時が1番印象に残っています。

帆稀君 始めはとても緊張しました。だけど、踊っている内にだんだん楽しくなっていました。

眞悠ちゃん 新人賞がもらえたことがとてもうれしかったです。

千尋ちゃん 友達とやっさ祭りに参加する機会が少なかったので、とても楽しかったです。

参加して変わったことは?

千尋ちゃん 学校の自由研究でやっさについて勉強していましたが、参加したことでもっとやさの歴史が分かりました。

眞悠ちゃん やっさ祭りに楽しんで参加したことで、笑顔が良くなったと思います。

龍二君 参加する前より、やっさに同心を持つようになりました。

帆稀君 最初は踊るのがめんどくさいと思つていたけど、実際に踊ってみて踊ることが楽しいと思うようになりました。

今年に向けた思いを教えて

千尋ちゃん 来年練習した交差して踊るのを、もっとアレンジして踊りたいと思います。

眞悠ちゃん 聞き方で教室に行って上手に踊れるようになります。

うになりました。

中串さん まずは参加してみることではないでしょうか。そういうことで三原の「やっさ」という伝統を守っていくれば良いと思います。そういう経験は子どもの時にあっておかないとダメだと思います。

奥長さん 子どもやっさには継続して出たいです。

帆稀君 どこを目指すのかなんだと思います。

例えは、優勝を目指すのであれば、まだ今の中レベルでは難しいかもしれません。でも、祭りを楽しむ、踊りが上手になるといったことなら出来てしまう。いずれにしても、子ども達のために何をしてあげられるかが大切なだと思います。

竹野さん でも、最初は本当に参加出来るのは半信半疑でしたよ。

大変だったことは?

奥長さん 初めての参加なので、段取りや準備が大でした。全然分からなかっただけで、実行委員会の方が指導してくれたおかげで克服出来たと思います。

竹野さん 予算をかけずに出来ること心配でした。その点では、バスを出していただいたことは助かりました。

中串さん 大変というか、参加するって決まった時に、子ども達が一生懸命練習するのを見つめました。

保護者の感想

参加したきっかけは?

奥長さん 三原市PTA連合会の会議の際、実行委員会の方に話を聞いて、参加してみようと思いつきました。

竹野さん お子さんと一緒に楽しむことがとてもうれしかったです。

眞悠ちゃん 友達と一緒に楽しんで参加したことで、笑顔が良くなったと思います。

龍二君 参加する前より、やっさに同心を持つようになりました。

帆稀君 最初は踊るのがめんどくさいと思つていたけど、実際に踊ってみて踊ることが楽しいと思うようになりました。

今年に向けた思いを教えて

千尋ちゃん 来年練習した交差して踊るのを、もっとアレンジして踊りたいと思います。

眞悠ちゃん 聞き方で教室に行って上手に踊れるようになります。

今後の子どもやっさへの思い

中串さん まずは参加してみることではないでしょうか。そういうことで三原の「やっさ」という伝統を守っていくれば良いと思います。そういう経験は子どもの時にあっておかないとダメだと思います。

奥長さん 子どもやっさには継続して出たいです。

帆稀君 どこを目指すのかなんだと思います。

例えは、優勝を目指すのであれば、まだ今の中レベルでは難しいかもしれません。でも、祭りを楽しむ、踊りが上手になるといったことなら出来てしまう。いずれにしても、子ども達のために何をしてあげられるかが大切なだと思います。

竹野さん でも、最初は本当に参加出来るのは半信半疑でしたよ。

大変だったことは?

奥長さん 初めての参加なので、段取りや準備が大でした。全然分からなかっただけで、実行委員会の方が指導してくれたおかげで克服出来たと思います。

竹野さん 予算をかけずに出来ること心配でした。その点では、バスを出していただいたことは助かりました。

中串さん 大変というか、参加するって決まった時に、子ども達が一生懸命練習するのを見つめました。

帆稀君 最初は踊るのがめんどくさいと思つていたけど、実際に踊ってみて踊ることが楽しいと思うようになりました。

今年に向けた思いを教えて

千尋ちゃん 来年練習した交差して踊るのを、もっとアレンジして踊りたいと思います。

眞悠ちゃん 聞き方で教室に行って上手に踊れるようになります。

社団法人 三原青年会議所 3月例会 報告

井舟力向上委員会(浜本和宏委員長)は、3月19日(火)三原国際ホテルにおいて、人とひとつながる地域実現のためには今以上に地域の共育力を充実させ、地域の人と子ども達が積極的に関わることのできる環境づくりが必要だと考え、3月例会を開催致しました。

この現状を招いた原因は?■

三原市PTA連合会会長基調講演

三原市PTA連合会会長 上田政氏にご講演いただきました。10年前と現在の学校の評価方法や経営の変化を教えていただきました。また、生徒数の多い学校と少ない学校では保護者・先生・地域の大人それぞれの意識の違いがあることや、学校に協力を得ることが難しいという現状と、協力を得ることの有効性を理解することを教えていただきました。そして、JCMメンバーのような若い世代が率先して学校や地域に関わってゆくことが重要で、子どもがいる、いない関係ない関わっていてううと思う(意識)が大切ということを学ばせていただきました。

地域の人が関わる事が重要!!■

本來、子ども達は地域の中で遊ぶことによって自然から知識や技術、技能を身に着け、多くの仲間団体で自らを鍛え、他人を鍛え、それにより人の付き合う能力を学び地域の大いからは、身内外の人と接する経験や、時には社会に対する規範を学ぶことが必要なではないでしょうか。それらを解決するには、地域の大いの人ひとりが、積極的に行動していくことが必要と考えます。

町内会の現状

三原の地域が抱える問題点 町内会への取材から考える

町内会の現状

- ・地域によっては町内会への加入の少ない地域があり加入率に関しては把握していない町内もあつた
- ・町内会役員を仕方なく受け入れる人が大半で積極的に受け入れる人はいない
- ・町内会役員を順番にしようと考えている
- ・子ども達が、子どもに関する行事は学校で行なう経験があるが2割程度の参加しかない
- ・子どもの行事がないなど

今後の子どもやっさへの思い

中串さん まずは参加してみることではないでしょうか。そういうことで三原の「やっさ」という伝統を守っていくれば良いと思います。そういう経験は子どもの時にあっておかないとダメだと思います。

奥長さん 子どもやっさには継続して出たいです。

帆稀君 どこを目指すのかなんだと思います。

例えは、優勝を目指すのであれば、まだ今の中レベルでは難しいかもしれません。でも、祭りを楽しむ、踊りが上手になるといったことなら出来てしまう。いずれにしても、子ども達のために何をしてあげられるかが大切なだと思います。

竹野さん でも、最初は本当に参加出来るのは半信半疑でしたよ。

大変だったことは?

奥長さん 初めての参加なので、段取りや準備が大でした。全然分からなかっただけで、実行委員会の方が指導してくれたおかげで克服出来たと思います。

竹野さん 予算をかけずに出来ること心配でした。

例えは、バスを出していただいたことは助かりました。

奥長さん でも、最初は本当に参加出来るのは半信半疑でしたよ。

大変だったことは?

奥長さん 初めての参加なので、段取りや準備が大でした。全然分からなかっただけで、実行委員会の方が指導してくれたおかげで克服出来たと思います。

竹野さん 予算をかけずに出来ること心配でした。

例えは、バスを出していただいたことは助かりました。

JCI 社団法人 三原青年会議所新聞 第413号 5月号 発行日 2013年5月25日
Restart 三原JCビジョン 誇想創力

三原の心を一つに

～三原城築城450年に向けて～



社団法人 三原青年会議所では、これまでに三原の心を一つにすることを目指して、1月号から調査・提案をして参りました。今月号ではさかに、1567年に築城されたとされる三原城が2017年に迎える築城450年に着目し、まちづくりの一環として取り組むべきこと等についてお話ししたいと思います。

2面へ 

社団法人 三原青年会議所 4月例会 報告

JAYCEEの力向上委員会(向井委員長)は4月19日(金)に三原国際ホテルにて、明確な意思と的確な判断力を持ち行動できる手法を学び、リーダーとしての資質の向上を目的とした4月例会を開催致しました。本例会では、公益社団法人 日本国青年会議所認定 トレーナーの三ツ井 仁 講師をお招きしVisual Future(ビジュアル・フューチャー)について学びました。

ビジュアル・フューチャーって何?!

問題解決のためには行動が必要だと言われていますが、行動は解決策ではなく一つの手段です。確かに行動でなくして問題は解決しませんが、目的のない行動では意味がありません。行動するときには必ず目的があります。目的がない目標は得れないし、目標のない行動はありません。ところが多くの人は、自らの目標も現れていないまま話し合ったり考えたりします。それでいつまでも問題解決にならないまま。物事を目的から考え最適に行行動することが重要です。それが、ビジュアル・フューチャーの概要です。

物事は全て「目的・目標・行動」で考えます。広い視野で考えれば人生そのものがビジュアル・フューチャーの図面に例えられます。あなたの人生はそのためにはありますか? 人の質問の答えが「マイホームがほしい」や「かっこいいスポーツカーに乗りたい」といったらそれはあくまで目標です。それが手に入った段階で人生の目的を見失ってしまいます。その目標の上の上には「豊かな生活」や「楽しい生活」などの目的があるはずなのに、質問を人生の目的と思

い込んでしまう人たちがいます。人生の目的を実現するために必要なのは「最高な目標」と「最高な行動」の選択です。最高な選択をしたらしく、人生の目的を叶えるツール、それがビジュアル・フューチャーです。

4月例会での目的を持つそれに合わせて行動する、ということの重要性をしっかりと学ぶことができました。この例会で学んだことを活かし今後のまちづくり活動に繋げてゆきます。

ホームページに関するお詫び

社団法人 三原青年会議所 公式ホームページが諸事情により4月1日より利用できない状態(5月15日現在)となっています。復旧までの間は一切の報酬が閲覧できかないため、みなさまご迷惑をおかけ致しております。早期の復旧を目指し対応しておりますので、ご理解のほど何卒よろしくお願ひ致します。

やっさもっさチャンネル

今月のやっさもっさ新規の内容は
三原テレビにて下記の日程(※)で放送予定です

5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	6/1	6/2
7:30	●	●	●	●	●	○
11:30	●	●	●	●	●	●
13:30	●	●	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●
22:00	●	●	●	●	●	●

やっさもっさ伝言板

6月号予告

『三原の共育力向上に向けて』

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

お問い合わせ先

社団法人 三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆美4-8-1 三原工商会議所内
TEL: (0848) 63 - 3515 / FAX: 62 - 1141
Eメール info@miyara-jc.com

■執行 社団法人 三原青年会議所
■編集 広報委員会

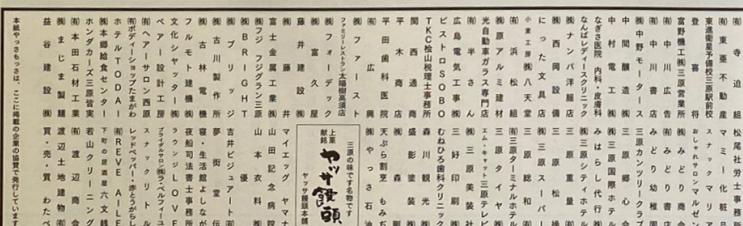
QRコード
携帯の方は、
こちらから
お読み合せ
下さい。

知ってる?! 三原城とその歴史

市民のみなさまは、三原城の歴史はご存知ですか。三原城築城450年に触れていく前にまずは、その歴史を知ることが肝心だと考えます。そこで、三原城に関する年表を見ながら三原城の歴史について簡単に触れてゆきたいと思います。

元号	西暦	記事
天文20年	1551年	小早川隆景、高山城に入城。
21年	1552年	小早川隆景、高山城から新高岡城に移る。
永禄10年	1567年	小早川隆景、三原城を築く。
天正5年	1577年	毛利・織田氏は全面戦闘に入る。
8年	1580年	小早川隆景、家臣に対して三原城の修築を命じる。
10年	1582年	小早川隆景、家臣に対して三原城の修築を命じる。
11年	1583年	小早川隆景、三原城下町の整備も進める。
13年	1585年	小早川隆景、四郷出兵後、伊予国を封ぜられる。
14年	1586年	小早川隆景、居城を三原から島後の篠島城へ移し伊予国を統治する。
15年	1587年	小早川隆景、九州出兵後、筑前・筑後両国を封ぜられる。 小早川隆景、筑前を筑前守と名島城に移す。
文禄4年	1595年	小早川隆景、秀秋に筑前の領地を三原に帰還。
慶長元年	1596年	小早川隆景、三原城の門・矢倉など諸建築物の再建工事を進める。
2年	1597年	小早川隆景、死去。
5年	1600年	桂ヶ原の戦後、福島正則が芸備両国を支配。重臣を三原の脇備へ。
元和5年	1619年	福島氏の改易により、浅野長晟が芸備両国に転封。 三原城は浅野家家督老成浅野忠吉に預けられる。 幕府は一国一城令を発令する。
6年	1620年	幕府は、三原城を残すことを認める。
万治2年	1659年	三原城の堀(船込)浚えを幕府が認める。
文政12年	1829年	三原城二の丸北の石垣3角か所の修築を幕府が認める。
13年	1830年	町方に石垣修理申請の依頃請がされる。
安政2年	1855年	地震により壊れた部分の修築を幕府が認める。
明治4年	1871年	三原城は広島本藩に返還される。
5年	1872年	三原城の建物、木石などの入札が行なわれる。 城の中心部の建物などは次第に取り除かれていた。
6年	1873年	三原城城が部分的に海軍軍用地となる。
9年	1876年	三原城内有志、三原城内の道路付けについて内務省に伺いを立てた。
24年	1891年	山陽鉄道の敷設が急がれ、残された三原城の建物が取り除かれる。
25年	1892年	三原城の本丸の石垣に駒塚を建て、ここに通路築きをすることになる。
27年	1894年	三原城車場が開設。丁度廢帝車両と御乗用車両にゆきあわせられ。

※参考資料：「三重古文」及び「三重城跡」



歴史に残る戦国の智将

小早川隆景の 人物像に迫る!

前述で三原城の歴史に触れましたが、次にこの三原城とは切っても切れない存在小早川隆景について触れてゆきます。みなさまも名前は良く耳にしていると思いますが、実際どう言った人物だったかはご存知でしょうか。小早川隆景の人物像に迫ります。



※小早川隆景像 三原市歴史民俗資料館所蔵

小早川隆景の生い立ち

小早川隆景は1532年に、かの有名な毛利元就の三男として生まれました。幼名は勇徳といふ名前でした。羽柴秀吉や柴田勝家を破ったが、毛利氏は秀吉に臣属した。その後秀吉は漸的に協力し、1555年の四国攻めでは伊予の金子元元を破るなどの功績を挙ました。隆景はこの年の小早川家の本拠地高山城（三原市高岡町）に入り、翌年高山城（三原市高岡町）に移り、これを本拠地として活躍しました。そして、1567年に三原城城主となりました。

1583年の膳ヶ岳（さげたけ）の戦いでは立中立を保ったが、この戦いで羽柴秀吉が柴田勝家を破ると、毛利氏は秀吉に臣属した。その後秀吉は漸的に協力し、1555年の四国攻めでは伊予の金子元元を破るなどの功績を挙ました。隆景はこの年の小早川家の本拠地高山城（三原市高岡町）に入り、翌年高山城（三原市高岡町）に移り、これを本拠地として活躍しました。そして、1567年に三原城城主となりました。

小早川隆景の人物像

父・元就は頗る才能により中国地方のほぼ全土を支配に置くほどに勢力を拡大し、西郷の観音となつた武将です。元就には9人の子どもがいましたが、その資質を最も色濃く受け継いだのが隆景であるといわれています。小早川隆景と聞いて連想されるのは、(三本の鉤)教訓や鹿岡城で東軍勝利の決定的要因を作った秀次の養父ということで隆景本人を語るものは以外に少なく感じました。

隆景一人兄・隆元が急死した後、次兄・吉川元春とともに毛利の両川として毛利家を支え、元春が九州の陣で没すると、隆景一人で隆元の遺児である宗主・輝元を良好に育み、終生その姿勢を変えることはありませんでした。

信長の下で毛利と対決してきた秀吉は敵であった隆景の才能・実力を非常に高く評価していたようです。秀吉の攻城下では、隆景が常に五大老といわれた重臣として厚遇されたということは意外といふところではありません。

天下人、豊臣秀吉との関係

1583年の黒岳ヶ岳(しづがたけ)の戦いで中立を保ったが、この戦いで羽柴秀吉が柴田景豊を破る、と毛利氏秀は吉宗に従属した。その後秀吉に積極的に協力し、1585年の四国攻めでは伊予の金子元宅を破るなどの功績を挙げた。また、1587年に瀬戸内海に城入城した隆景は秀吉の統一を開始し、河野通直を通じて隣居さして河野家野村町や寺西町などその家臣を配下としました。ただし、約2年で終わる伊予領主の間も本拠地は三原のままでした。

1586年から筑前の九州征伐にも参加し、戦後秀吉が功成凱勲の軍功700石に加え3万1千石を与えられたと言われています。

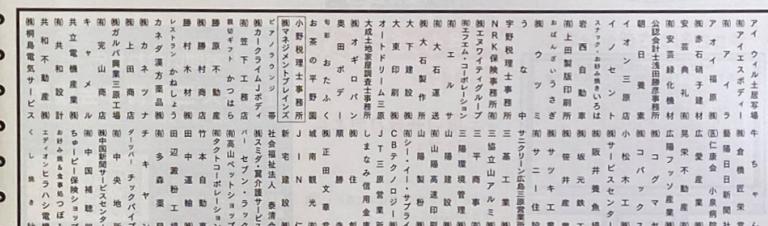
天下太平による太平和を、慶應元年に第2回

反乱を抑える役割も持たせていよいよ。さらに、西側の町と東町に段差を持つことにより水害を防ぐなど、城下の防衛に注力していました。このことから、三原のまちは堺城以来一度も兵火をうけず明治維新を迎えることができたのです。三原城には明治政府も非常に興味を示し、海軍省が三原城を買い上げたほどで、幻の軍都だつたともいえます。



今月号では、三原城築城450年をまちこくりの一環として考えてゆく中で、まずは歴史を学ぶことが重要だと考え三原城と小早川隆景に着目し、調査いたしました。今回調査していく中で、歴史に触れることで、三原城築城の背景や小早川隆景の歴史上の功績を学ぶことにより、三原城築城450年に向けて盛り上げていく必要がありますよんと感じました。

我々は今後もさまざまな取材・調査を行ない、三原が一つになれるよう活動して参ります。



『しまねっこ』が生まれた背景

三原JC 「ゆるキャラが出来たきっかけを教えて
下さい。」

島根県「全国の『ひこにゃん』や『せんごく』のキャラが誕生してかなりムーブメントとしてゆきラップが始まっている中で島根県には観光キャラクターが無かったので、ちょうど良い機会だということもあり、ゆるキャラを作っていて島根県をPRしていくために一つのツールとして使っていこうという考え方です。」

三原JC 「島根県としてではなく、島根県内の各町村には無かったのですか。」

横木県「市単位ではあったのですが、県全体のイメージとしてそういうものがありました。人々、神話にゆかりがあるキャラクターはいたのですが、観光キャラクターというもので作ったものでなかったので、観光という肩書きとするものを作りました。」

公募による製作

三原JC 「いつ誕生したのですか。」

島根県 「平成21年に誕生ました。春から企画、キャラクターの募集を始めたのが夏から募集しました。」

三原JC 「どのくらいの募集期間ですか。」
島根県 「7月14日から9月14日までの約2ヶ月間とし、公募にしました。方法としては記者クラブ

タウン誌、HPへの掲載や、県が持っている広報枠情報発信をし、あとはプレゼント実施サイトや懸賞サイトにも載せました。」

三原JC 「応募数を教えてください。また、謝礼記念品は用意されましたか。」
横須賀 「総数としては全国から364点の応募がありました。応募の段階では、謝礼や記念品は用意していませんでしたが、しまむかこのデザインをいたした方にグランプリとして賞賛の賞金20万円出し、優秀賞の2点には5万円を渡しました。」

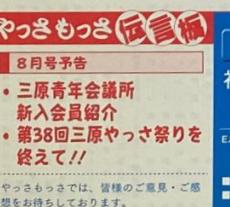
認知度と活動状況

三原JC 「観光キャラクターとして認知度と集客はどのくらいを感じていますか。」

島根県 「認知度についてはかなり上がってきています。県内であれば相当の認知度があるのではないかと感じています。去年の神話博しまねが

ではないかと思感じています。去年の評議会にねがった時は毎日ステージに上がっていました。しまねつうらや、ダンスを作って幼稚園や保育所を回って子どもたちと触れ合う機会を作りました。実際にしで、二月は月曜日から金曜日まで三機会を立てること

「ねっこを見たり触れ合ったりという機会を作ることで認知度はアップしてきていると感じています。」
三原JC 「活動状況を教えてください。」



鳥根県 「キャラクターの管理は県がしていまして、週末を中心に週2～3日活動してしています。運営形態としては、着ぐるみの管理は県で、観光連盟で事務局をしています。」

三原JC 「経済効果は把握されていますか。」
鳥取県 「実績の整理がまだできていません」

【高橋】「商標の管理だけと言えば売上の1%を許諾料として頂くようにしていて、平成24年度が530万でした。『しまねっこ』の商品が全て売れて

いると考えれば100倍となるので5億になってきます。あくまで全ての商品が売れたということが前提です。商品としての経済効果だけでなくそれ以外を考えるともっとあると思います。

『まねっこ』の今後の展開

島根県 「認知度が上がって商品が幅広く展開さ

されれば「しまねっこ」目的にお客さんが来てもえらぶようになればいいなと思います。「こにゃんやる」というキャラクターになってるとそれに会うために訪れるというのが、集客の要因になっています。そこまでのものに出来たら大満足らしいことだと思います。今年からFacebookは始めますし、全国的にもゆきゆきを使ったCM等企業がしています。「しまねっこ」も道行くて頂いているのでそういう意味では非常に面白いに思います。全国的にも、大型で買っています！

取材を終えて

今回、島根県にお伺いし、ゆるキャラを作成してから認知してもらわずに、しっかりとPRをされているところが分かりました。毎日ステージに上がったり、幼稚園や保育園を回ってることで、実際に自分で見て触れて機会を作ることで、認知度を上げたようです。どのようにして認知してもらう努力と戦略が必要であるということを肌で感じました。

広報委員会では今後も三原の「ゆるキャラ」実現に向けて調査・研究をしてまいります。

富士山は世界遺産に登録され、観光客、登山客でにぎわっている。しかし登録される前は、国連の専門機関による教育科学文化問題部（エスコ）の諮問機関「国際記念物会議（イコム）」が、富士山を世界文化遺産とするよう活動した。そこで、承認の条件となる影響を及ぼす可能性（日本にとどまらず）と認定し（スイス・ダーラン）に至る。本文化として、その純潔性を高く評価した「その方の、原初の神話」と言われた青木宣長の説を、圓照寺にし、富士山の山脈である「不死の山」のふくよかな山容と現実は、世界遺産登録による高い意識とは言えない」とし、青木宣長の死後、牧野天如によって、それを復活させた。天如は「人をバヘタリを全く以後牧野として生きておられる」と評された。◆本巣原樹は、日本の天然記録に定められており、かくや世界遺産登録への余裕では、さぞ大きげられたこの復活像には、相当機知をもつて考案した。だが過去にイモスクを示して指摘した韓国人の苦労を取り消された前の事もあることから、日本が「コストを支払うことを想いながら、登録費用を納付する可能性のある市は市民に納付すべきであつた」などといつては伝へていなかった。

本誌「やっさもっさ」は、1月から11月まで毎月1回(25日)発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。

三原の共育力向上に向けて

~8月24日 地域で挑戦!ドミノチャレンジ開催決定!!~



共育力向上委員会(浜本和宏委員長)は、8月24日(土)に沼田東小学校体育館において、地域の大人が子どもたちの成長と共に育む共育力を目指した事業を開催致します。そこで、今月号ではその事業内容について紹介致します。

事業実施に至る背景

本年度、共育力向上委員会では地域の共育力向上のため活動しています。

現在、日常生活の中で人と接する機会が減少し、子ども達が人間関係を構築していく過程で育む、心の成長のための貴重な経験の場が減少しているように感じます。

こうした生活中で多様な可能性を持つ子ども達の、豊かな心を育んでいくには、家庭・学校・地域の人が協力し子ども達と共に育む環境の整備これまで以上の充実が必要だと感じます。そのためには地域の人が次世代育成に関心を持ち、子どもを育むする担当者として、積極的に活動してゆくことが必要だと考え、本事業の実施に至りました。

大人と子どものつながりを強くしたい

小学校の先生・児童・保護者・校区内の地域の大人が協力し、子ども達と遠慮感を抱える体験の場として、8月24日(土)に小学校の体育館で60,000個のドミノを並べる事業を行なっています。この事業を通じて、大人と子どもが接する機会を設けることでつながりを強くし、次世代育成に関心を持つきっかけを作ることで、地域の共育力を向上することを目指します。



本やつはここに記載するべきではありません。

なぜドミノ倒しが良いのだろう?!

ドミノには特別な技術は必要ありません。子どもから大人まで誰も参加することができます。その中で、感動・達成感・緊張感・想像力・創造力・集中力・協調性・交渉力などが自然に身に付きます。また、共通の目的を持つ事により初めて出会った人と話しゃいやい環境が生まれます。みんなが協力して取り組み、完結させることに意義がある印象があります。ドミノの準備・企画から倒し本番までの過程も、ドミノの面白さだと思います。

実践例としては小中高大学の学園祭や課外授業・青年会議所のメンバーパーティー等や子供育成事業・ボランティア団体の交流会・地域住民の交流会・企業研修・自治体イベントなどで行なわれています。



まずは沼田東から

今回は本事業を行なうにあたり地域と学校と保護者が一体となって子ども達を育む環境を作ることをめざすことを想い、この度は地域を限定させて頂きました。沼田東を選定した理由ですが、連合内会の中に青少年部が充実しています。青少年部と協力することができます。家庭・学校・地域の協力で成し得る事が出来、今後の取り組みにつなげて頂けると考えました。

また、本事業への実施地以外からの参加を見学につきましては、誠に最絶ではありますが、不特定多数の人が見に来られた場合の学校関係への配慮から、控えさせて頂いております。

開催日時と対象者

日にち：2013年8月24日 土曜日

時 間：8:30～19:00

住 所：三原市沼田東町片島273番地

会 場：沼田東小学校

食 事：昼食持参

対象者：沼田東小学校児童(5年生～6年生)

沼田東小学校教員

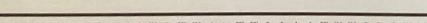
沼田東小学校保護者

沼田東小学校おやじの会

地域参加者

※本事業は対象を沼田東町内に限定です。

また、設営の都合上、地域外の方による参加や見学はできませんので、ご理解のほどよろしくお願い致します。



事業を通じてこの想いを広めたい

この沼田東で子ども達を育む環境作り、それを三原市全体へ波及させるため、三原青年会議所が発行している「わざわざ新聞」、三原テレビの「やっさしさチャンネル」、HP等を使い、また事業自体の取材をテレビ局に取材してゆこうと考えております。次世代育成に関心を持つ手法はいろいろあるとは思いますが、今まで以上、一人でも多くの人に次世代育成に関心を持って頂き、それを継続してゆける環境を目指して頑張ってまいります。

社団法人 三原青年会議所 6月例会 報告

JAYCEEの力向上委員会(向井浩一委員長)は、6月19日(水)に三原国際ホテルにて、6月例会を行いました。本例会では、青年会議所会員であるという更なる自覚と活動に対する誇りを再認識することを目的とし、2011年度JC(国際青年会議所)会頭の原田英太郎氏と2013年度 広島ブロック協議会会長の細羽雅之君にお話をいただき、パネルディスカッションを行ないました。

パネルディスカッションでは、原田氏においては日本各地、世界各国を経験をされた事を元

に世界で青年会議所が行なっている活動や魅力や可能性をお話していただき、細羽会長においては県内各地青年会議所の魅力セミナーとして青年会議所活動を向むけた行なっているのかなどををお話を頂き、今まで以上の自覚と活動に対する誇りを再確認させていただくことができました。

今後も、自分たちの活動にしっかりと誇りを持ち、三原の明るいまち実現のため、日々活動してまいります。



向井委員長 原田氏 細羽会長

三原青年会議所会員が地元経済人として語る!! ~総合技術高校への講師派遣~

三原青年会議所では、毎年講師として会員の中から2名を広島県立総合技術高校(以下、総合技術高校)へ派遣し、これからを担う高校生に対して地元経済を支えている経済人として、その体験談や経験を講話しています。そして、本年も総合技術高校より打診がやってまいりました。今回は、7月16日(火)に、経済を支える一人として、ビジネス社会で活躍されている方の経験談を通して高校3年間で身に付けるべき能力や態度とは何かについて講話をしました。山手誠君の両親を派遣して一人50分ずつ

の講話を行なってまいりました。



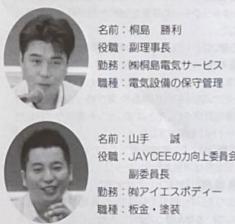
桐島勝利君の講話を内容としては、社会で仕事をしてゆく中で、お客様にどのようにして満足をしていただき、そのためには何が必要でどうのような考え方を持つべきか、また経験を積んで行かなければならぬなどを語り、最後に高校3年間で人間性を高めることの重要性について講話をしました。

山手誠君は、ビジュアル・フューチャーに着目した講話を行なっていました。まずは、自分の目的を考え、そこに辿り着くまでの目標を立て、どのようにして行動するかを考えることの重要性について講話を行ないました。また、人生の中で失敗を恐れず、新しいことにチャレンジしてゆくことの大切さを熱く語り

ました。

二人の講話中は、生徒はしっかりと話を聞き、メモを取っていました。普段とは少し違った雰囲気の中での授業だったことは思いますが、近い将来これから社会に出でいく総合技術高校の生徒のみなさまには、今回の講話をもう一つの社会勉強と捉え、高校生活の3年間と、今後の人生に活かしていただきたいと思います。

また、我々と致しましても、今後の社会を担ってゆく生徒に対して講話を行なうという、貴重な場を経験させていただきました。



名前：桐島 勝利

役職：副理事長

勤務：㈱桐島電気サービス

職種：電気設備の保守管理

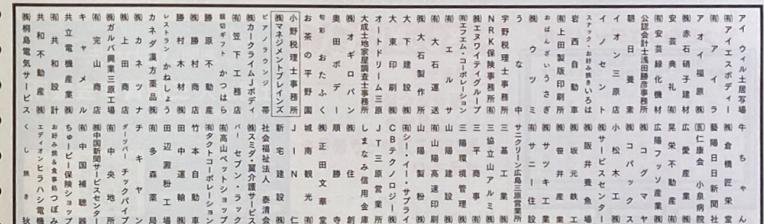
名前：山手 誠

役職：副理事長

副委員長

勤務：㈱アイエスボディー

職種：板金・塗装



※ビジュアル・フューチャーとは
物事を全て「目的」の目標へ行動で考えます。目的ない行動では意味がありません。行動するときには必ず目的があり、目的がない目標はあり得ないので、目標のない行動はありません。そこが多くの方には日常の目標も明確にしないで話し合ったりと考えています。これではいつまでもたても問題解決になりません。物事を自らから考えて最適に行なうことが重要です。それが、ビジュアル・フューチャーの概要です。

2013年度
社団法人

三原青年会議所 新入会員のご紹介

新たな5名の仲間が入会致しました。

三原のまちのために頑張りますので、よろしくお願い致します!!

片山晋一

S50. 7. 31 生

御片山自動車

まちの未来選択委員会

桑原光彦

S56. 6. 10 生

御調八幡宮

広報委員会

田中亮介

S55. 5. 27 生

田中運輸㈱

総務交流委員会

藤井 稔久

S55. 10. 9 生

税理士法人 富士会計

JAYCEEの力向上委員会

由水忠相

S49. 7. 16 生

由水酒販㈱

共育力向上委員会

選挙企画～まちの未来を選択しよう～第3弾

第23回参議院通常選挙を経て…まちの未来への意識を高める

今年は、私たち三原市民にとって選挙の年と言って過言ではないでしょう。4月には三原市長選挙・三原市議会選挙、7月には参議院通常選挙が行われ、11月には広島県知事の任期満了に伴い広島県知事選挙が行われる予定です。市民のみなさまは投票に行かれましたか。最近では、選挙への意識向上や、投票率向上のために新たな試みや工夫がされています。今回は、その試みや工夫の紹介と投票率向上の重要性を考えます。

『公開討論会』と『e-みらいせん』

本年4月に行われた、三原市長選挙・三原市議会選挙、皆さん何を基準に投票されましたか? 知り合いが選挙に出たから「お隣さんされたから」「地域の人だから」「この人なら三原市を良くしてくれそうだから」と様々な理由で投票をされたと思いますしかし、一番重要なことは政策だと考えます。実際に、投票するための具体的で根拠のある政策が重要だと考えます。そういう意味では、我々が今年開催した「e-みらいせん」公開討論会は非常に重要であったと考えます。これからも継続が必要であると考えます。これからも継続が必要であると考えます。

投票率向上への新たな試み

7月21日(日)に、第23回参議院通常選挙が行われました。今回も、広島選挙区から5名が立候補され、全国的にも自民党的圧勝という形で幕を閉じました。この参議院通常選挙では、反対を訴えたのが、ネット選挙ではないでしょうか。公職選挙法が改正され、これまでできなかったことができるようになりました。具体的には、政党や候補者は、ホームページやブログの更新をしたり、ツイッターやフェイスブックを使って、情報を発信したり、投票の呼びかけや街頭演説の内をすることでできるようになりました。しかしながら、候補者を表したなまじまいや、ネット上で説教中傷などをはじめとした不正要素もありますが、選挙がより身近なものになったと思います。また、広島県として投票率向上に向けて取り組まれた「ラッシュモード」もよく耳にしました。このラッシュモードはメールやSNS

などの呼びかけに応じた不特定多数の人々が、公共の場に集まり、あらかじめ決めておいた共通の行動(例えばダンス)をとつづけて解散することです。この試みは、若者が投票への意識啓発の一助となったのではないかでしょうか。

まちの未来はあなたの次第

本年11月10日(日)には、任期が満了による、広島県知事選挙と、広島市議会議員通常選挙が行なわれます。候補者の政策や宣言などを傾げ、しっかりと判断基準をもと、票を投じることが重要です。投票率向上のための試みも重要なことです。私たち一人ひとりが、自分のまちを住むまち、国に心を持つことです。それが、私たちの明るい未来の第一歩となるのです。その意識向上の一助となるよう、我々も活動をして参ります。まちの未来はあなたの次第。

やっさもっさチャンネル

今月のやっさもっさ新聞の内容は 三原テレビにて下記の日程(回数)で放送予定です						
月	26	27	28	29	30	31
7:30	●	●	●	●	●	●
11:30	●	●	●	●	●	●
13:00	●	●	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●
22:00	●	●	●	●	●	●

やっさもっさ伝言板

9月号予告

ドミノで育む地域の絆
を終えて…

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

お問い合わせ先

社団法人 三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆美4-8-1 三原工商会議所内

TEL : (0848) 63 - 3515 / FAX : 62 - 1141

Eメール info@mihara-jc.com

■発行 社団法人 三原青年会議所
■編集 広報委員会

第38回三原やっさ祭りを終えて…
子どもやっさ参加チームにインタビュー!

8月9日・10日・11日の三日間にわたる、第38回三原やっさ祭りが無事開催されました。その中で「子どもやっさ」に出場した子ども達はみんな頑張って、出場までに練習してきた踊りを精一杯披露していました。そこで今回は、まちの宝であり三原の将来を担う子どもたちに「子どもやっさ」に込めた想いを聞いてみました。



桜井実行委員長から市民の皆様へのお詫び

第3回三原やっさ祭り実行委員長を務めさせていただきました。社団法人 三原青年会議所 特理理事の枝井貴晴です。第3回三原やっさ祭りでは大変多くの方からご協力いただき年も無く開催する事が出来ました。また、新しいステージから本当に多くの方の笑顔を見せさせていただきました。心より感謝申し上げます。3年間、毎年夏になると当初の予定のように三原市では「やっさ祭り」が開催されます。しかしながら、開催が手の方の参加、観客の皆さんの笑顔があつて初めて開催出来ています。それだけは忘れないで下さい。三原市には「原やっさ祭り」は必要です。踊り手の方が観客による事もあるでしょう。観客の方が踊り手になることもあるでしょう。または、運営側によるいう事もあるでしょう。どんな形でも構いません。どうか皆さん、今後も「三原やっさ祭り」に賛同して下さい。そうすれば広島県を代表する三原市最大のお祭りは今後も続きます。夏になれば当たり前に開催する事が出来る筈ですので、今後も三原やっさ祭りをどうか宜しくお願い致します。3日間本当にありがとうございました。

三原のゆるキャラ実現に向けて

三原市タウンマネージャー 逆井健氏に聞いてみました!

本年度、広報委員会では「ゆるキャラ」について取材や調査を行なっています。今回は三原市タウンマネージャー（以下、TM）の逆井健氏に取材を行ない、逆井TMの視点から考える「ゆるキャラ」の可能性について聞いてきました。

まちの活性化につながるのか?!

恒久的に「ゆるキャラ」運用するには

- 逆井TMの見解では「ゆるキャラ」は、基本的に「ご当地グルメ」や「地域の代表的產品」などと同じで「地域を活性化する一つのツール」ということです。それがあるからと言って使い方を間違えれば、地域の活性化に直接につながるとは言いくらいのことがあるようです。

通常は、イベント会場に登場する「ゆるキャラ」は、イベントに華を添え、ファミリー層の会場を活性化したりもしますが、イベント自体の大きな集客手段にはならないようです。ただし「ゆるキャララッシュ」の際に大規模なゆるキャラ集合イベントにまで突いていけると、相当規模の集客イベントにすること可能です（当地屋台単体では難しいが、日絆クリエイターなどは集客ができるとの同じ）。この観点から、まちでキャラでもキャラを有しておき、他都市のイベントに参加しておくことで当地でも開催できる可能性は高まります。このことから、まちを代表できるPRツールの「1ジャンルとして「ゆるキャラ」を持っておくことに関してメリットは大きいと考えられるということでした。

「ゆるキャラ」の2次的効果

熊本の「くまモン」が「ゆるキャラ」の代表的成し事例になっていますが、それはあくまで商品開発の観点で、観光や地域のパンゲイティで「くまモン」が来ることによって集客できるわけではありません。【くまモン】の版権利用の自由度をしたところで、ご当地の「ゆるキャラ」が様々な方法で有名になればなるほど、それに関連したグッズが売れ、開発・販売する事業者が利益を得られるということでは「ゆるキャラ」の二つの効果が明確されます。ですが、三原の事業者が積極的にこれを展開すればという前提条件で、結局、有名にならなかったグッズは全て他のまちの事業者が作って販売しているという状況になる可能性も充分にあります。

逆井TMが考える「ゆるキャラ」成功のポイント

テ - マ	三原のイメージを伝えられ、かつ「インパクトのあるもの」実は単純にかわいいだけのキャラよりも、少し変とかちょっと怖いくらいが好評
制 作 費	諸団体の予算や寄付・募金、出資・ファンなどで原資を集め
運 用 費	自主出動の場合や委託出動の場合などの費用算出と徴収方法の確立
管 理 運 用	所有団体が全て出動するのか、貸し出しのみやその場合のルール作り
演 出	誕生秘話、言葉を話す・話さない、同時刻出演制限の設定
2次利用	多少の改編の可・不可、許認可制か登録制か、版権使用料など

合併10周年と築城450年を目指して

三原市は2年後に、三原・久井・本郷・大和が合併して10週年を迎え、2017年には三原城築城450年を迎えます。旧一市三町の心を一つにすることができ、また市外から観光客を獲得しつらを盛り上げてくれるチャンスだと思います。そこで「ゆるキャラ」は大きな力になるのではないかという質問をさせていただきましたが、次のように

な回答を頂きました。

1市3町合併や三原城などをテーマに据えるのであれば、それに見合ったものを考えていゆくか、またはそれぞれのエアリーやテーマで作成、集合イベントに活用するという方法もあります。更には、今だけの流行の感は強いのですが、ご当地アイドルグループをつくるという手もあります。合併10周年をテーマにするならば、各地区でのキャラバン(巡回型)イベントなども考慮されると思います。その際には、目玉になるしかけが必要に

市民のみなさまは三原の『ゆるキャラ』は必要
を感じませんか?

2014年度 社団法人 三原青年会議所 理事・役員決定!

9月19日（木）三原国際ホテルで9月例会を開催致しました。本例会（総会）では、2014年度 社団法人 三原青年会議所 理事役員が承認されました。

2014年度社団法人二京青年会議所理事長賞受賞式典



2014年度
(社)三原青年会議所

平素より、(社)三原青年会議所の活動に対しまして、多方面にわたり皆様からの暖かいご理解とご支援を頂戴しておりますことを心より厚く御礼申し上げます。

さてこの度、2014年度（社）三原青年会議所の理事・役員が決定致しましたので、ここに紹介並びにご報告をさせていただきます。

(社)三原青年会議所は、1962年の創立以来
明るい「暮らすまちづくり」を基本理念にその様々な
経済・社会・文化などに関する諸問題を調査研究し、市民、行政あるいは各種団体との連携を通じ、地域社会のよりよい発展を願うべく様々な活動
を展開してまいりました。2005年6月に発表した「我々
のまちづくり構想、ビジョン『三原の聰明 力力（ご
そそうよし）』」では、協議でここのまちを創る
仲間の必要性を唱げ、「聰りあるオシリーワーク

ンの輝くまち三原」を目指して今まで取り組んでいます。今後とも郡内競争で駆け出さず中止において、地方では上向く実感を捉えにくく経済効果、累積の課題の少子高齢化問題や社会保障問題など、更には2011年に起こった東日本大震災後の新たな課題も加わって環境感は拭き切れては言いくらい状況にあります。そのような環境下においても、責任と世話をやる青年として、また青年経済人を自負するとして、自分たちの住むまち自分たちの手で、明るい未来を感じることができるようにしてゆくための私たちの活動は、日々挑戦と貢献があると感じます。

姓	職	名	所	勤	務	先
理 事 長	倉 喜 葡	英 栄	倉 喜 葩	朱 宗		
直 通 理 事 長	樺 山 森	三	TOKO山田理士社長	社長		
副 则 理 事 長	桐 鳥 勝 利		鶴島電気サービス			
副 理 事 長	大 石 力	努	大 石 大 製 作	社長		
"	富 田 伸	博	キャラビック保険	社長		
"	花 田 草 道	幹	ミノリフー	社長		
"	森 川 利 和	明	セイ	社長		
專 種 事 業	新 田 武 司	に	つたえ	文 具		
理 事 長	原 美 子	三	原末広	賀能便		
"	大 波 旦	日	サニ	一 住		
"	曾 井 健 司	曾	井 健	井 住		
"	西 岡 宏 真	西	岡	西 頂		
"	山 手 誠	山	手	イエイ	ビコ	ド
セクレタリー	大 原 愛 里	大	REVE	A IL		
"	田 中 亮 尹	田	中	連		
"	藤 井 絹 久	藤	井	理祝	法人富士会	
"	由 水 忠 相	由	水	慶	阪	
監 事 長	阪 井 延 駒	阪	井	義	良	
"	矢 岸 昌 徳	矢	岸	アキラ	ヒト	アサヒ

8月例会 会員・家族 交流会 開催!
~地引網体験&BBQ in今治市大島~



成長の機会を得ることができる所以はあなた次第!!
～2014年度 会員募集～

~2014年度 会員募集~

務部、交流委員会（三好委員長）は、8月18日（日）に、今治市大島にて会員・事業者会を開催致しました。この例会事業では、会員同士が楽しく交際し、日頃の疲れを癒すと共に、日頃から我々を支えてくれている業者と共に楽しい時間を過ごしました。当時は、毎月にても開催し、地元情報誌やバーチャルスタイルや海水浴場などを行なっていましたが今は行なっていません。まことに三好委員長は三層のまちをより盛り出すためです。その活動を行なえるのは、会員同士の絆があるからです。多くの仲間出会い、時には交際などで会員同士の絆を深め、また同じ年代の青年経営者が互いに楽しまつてからを考えまちづくり活動をおおむに切磋琢磨することで、自分たちの成長につながります。そのような、成長の機会を得る事のできる三原青年会議所にはなれたいと考えてみませんか。

五年六月に発生した佐賀県東市内の
十六歳少女による死体遺棄事件の
ある殺傷事件を、筆者によく尋ねました。
間が未だ現れてゐる。子どもたち
の世界を引き出してしまうイン
ターネットの情報世界やソーシャルネット
家庭だからこそ、使われる力やルールなど
指導されず子供の「判断」に任す
うな社会が多くの問題の原因ではない
うか。しかし、その問題の生活の中
時に指摘される事例は、問題の多くは
どうぞと親切に思はれる事例で、そ
の中で最も印象的で大切な
ことを伝えていたいなあうか――
〇一九年春先開された「なまらか・
んの『トライ・ソルジャー』――こう歌
の時に書かれていたあおやち
の語が胸に残る。歌詞は、大切
なものに改めて気付いた人も多く
なかつたと思う。古来より日本人
は神に作られたこの国を愛する
おとぎ話や自信を信じてきた。
しかし、おとぎ話を信じたまま、
その神話の頃とさせられ、直後から
の神話とは、必ず止む大切
なものとの間に隔てられた。被
覆していたのは、豈むかうだろ
う。本質的に大切なことを
置いていたのである。しかし、
親が子を家政の中へ送り、
少す家庭の負担を減らすために、
校だけが子たちの将来に責任を負
うとする。子供たちは時代の日本
として捉え、古き時代の日本の
代の子たちは運に一つの深刻な割
合であるのではないか――
くるのではないか――。

JCI 社団法人 三原青年会議所新聞 第417号 9月号

执行日 2013年9月25日

三原JCビジョン

想
力
創
誇



本誌「やっさもっさ」は、1月から11月まで毎月1回(25日)発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。

ドミノで深めた地域の大人と子どもの絆!!

共育力向上委員会(浜本和宏委員長)は、8月24日(土)に沼田東小学校体育館において、地域の大人が子どもたちの成長を共に育む共育力の向上を目指した事業を開催致しました。そこで、今月号ではその事業当日の内容についてご紹介致します。



三原市立沼田東小学校



昭田真子ども会連合会

今日はなかなか地域の大人と子どもが
関わる機会が少ない中で年上の方たち
と積極的に会話をしている子ども達が
見えたのは私としては嬉しかったし、
これをきっかけに自分たちから地域の
方へ挨拶を積極的にできるような子ども
に育ってほしいなと思いました。

今回、初めてドミノを体験しましたが、大変なのがよく分かりました。子ども達が喜んでいる姿を見て本当によかったです。また、地域の大人と子どもの関わりが少なくなっている中、このような場をまた、行なうことができるればいいなと願いました。



本事業におきましては、地域の子どもたちや大人がドミノを通じて、共に考え、話し合い、並べる作業を行なうことで、普段見なくなっている子どもたちの大衆が深めることができたと感じております。本事業に関しましては、10月に開催された事業報告会にてご報告致しました。



共育力向上委員会
二二二 沢木 和宏

三原市タウンマネージャー 逆井健氏に聞いてみました!

まちを元気にできるのはあなた!?

中心市街地活性化の今に迫る!

三原市で中心市街地活性化という言葉を聞くようになってからどのくらい経つでしょうか。三原青年会議所では、2011年に本紙面で取り上げ、中心市街地活性化について触れていました。

中心市街地と聞くと、まちの中心部だけの話のように聞こえますが、中心部の人だけの話ではありません。うまく活用することでできることは、中心部以外の方も関わることで、そこからまち全体に広げてゆくことができる可能性を秘めているからです。そこで、本紙面では、三

原市タウンマネージャーの逆井健氏に、現在の中心市街地活性化の進捗状況について聞いてみました。実際、中心市街地活性化は進んでいるのでしょうか。そして、いつも申請され、いつ認定されるのでしょうか。三原にどのようなな影響があるのでしょうか。まず今月号では、そもそも中心市街地活性化とは何なのか、タウンマネージャーとはどのような仕事をされているのかについて触れてゆきます。

まちづくり

まちをマネジメントする仕事

タウンマネージャーって何?

タウンマネージャー(以下、TM)とは様々な部署間連の組織、事業者の皆さんなどの動きの間、必要な会議や企画調整、フリーレーヤーの発掘や業務の推進などをする役割と考えています。

指示や提案を出すという形ではなく、横並びになり仲間になって行動を共にするスタイルが特徴です。

TMという仕事には、一定の定義もなしてなければならぬ一定の職能もありません。それが故に評価の確たる基準も立たず、評価の仕方もあらう珍しい仕事ですが、活性化を目指すまで、そのために必要と思われるあらゆる取り組みができるし、また、それは必ずしも在位年数を示さない企業であります。そして、常に以前よりも進むことを結果を出すこと、改善されることを絶えず求められるという常に海団なき海原をなす仕事です。

三原ではどんな事をしてるの?
三原市の中心市街地活性化議会の中では、TMは三原の中心市街地活性化基本計画策定の推進をサポートする役割で、必要な関係者会議の開設、事業者の仕組みの提案、商業者の活性化支援、関係者間の調整、情報発信などを幅広く担当しています。また、中心市街地活性化基本計画の策定段階では、そのサポートという業務が現段階では少ないのですが、地元の商店街の活性化やイベントのコーディネート、活性化に関する報道セミナーの開催、地元の実践活動などにも取り組んでいます。

- 中心市街地活性化ってなんだろ？！

中心市街地活性化って何？！

中心市街地に存在する人(居住・就業・交流人口)が増えることです。その結果、既存の商業が成長し拡大していくことです。そして、中心市街地が変わっている様子になります。商業者の事業が結構的にうまくいき、その集合体である中央市街地から出でて、空き店舗ができるなくなる。あるいは新規商業施設ができるというこという流れになるのが理想で、そのためにはまずは中心商業地域に居る人、来る人、働く人、住む人を増やすことが重要です。

それを自分の商売につなげていくのは個々の事業者の才覚ですが、まずは人がいなければ話にならないません。もちろん、個の魅力を人に伝えるくるという考え方もありますが、それは自然と別途、生業の中に商業地域が確立して、特に街中で多くの人がそこに居た時代の話です。今は中心商業エリアには人に声を聞くところが多いですが、必ずしもそれが仕掛けが必要な時代ですから、例へん先輩が先導的役割を果たす時代からと言われれば、確實に先輩が先導的役割を果たさなければいけません。そのためには、中心街中地・商業地域に誘客する仕掛けとして活性化事業事例といわれるものが必須になります。

まずは、市街地中心に存在する人（居る人、来る人、働く人、住む人）を増やすことが活性化の第一目標です。

市中心街地の計画エリアはどこ?!

現段階では、三原市の市中心街地の計画エリアとしては、本町・港町・館町・城町・円一町の三原市街地沿いを想定しています。

三原市ではこれまでに商業者が増え、空き店舗が減り、日常的に来往する人が増えることや、まちなかでの居住施設が増え住む人が増えることなどを目指しています。施設によっては現在の物販の営業活用だけでなく新規整備も必要かもしれません。さらには、中心市街地に来る歴史的・文化的な活動等も活用してまちづくり活性の増加や、交通方式の再構築による通行者の増加等も目指していきます。

次世代育成プロジェクトを終えて! ドミノで繋いだ地域の絆

共育力向上委員会(浜本和宏委員長)は、8月24日(土)に沼田東小学校体育館において、地域の大人が子どもたちの成長と共に育む共育力の向上を目指した事業を開催いたしました。先月号ではその事業当日の内容についてご紹介いたしましたが、今月号では事業を終えて、実施地域の参加者の感想と今後の活動について報告いたします。

ドミノ参加者の感想集

ドミノ参加者の感想集		
地域の人々	保護者	子ども達
Aさん	Bさん	Cちゃん
Dさん	Eちゃん	Fちゃん
Gさん	Hちゃん	Iちゃん

ドミノと言ふ共通の話題を持ち作成する中で多くの方から子どもと大人が交流することができたとお感じしており、取り組みを通じ子どもと大人の互いがつながりを強めるきっかけになりました。また長時間の難しい作業において、同じ目標に向かい協力することで、最後には人の協力から成せる大きさな達成感を感じただけたのですなでしきょうか。

この度の取り組みを、子ども達のために家庭



三原の「ゆるキャラ」実現に向けて! ついに動き出す!!

広報委員会では、年当初から「ゆるキャラ」について、さまざまな地域に取材にゆき、調査・研究をしてまいりました。そして、その内容に関しては本紙面を通じて発信することでまちの活性化の1つのアイテムとして「ゆるキャラ」の必要性を訴えてまいりました。

そのような中、一般社団法人 三原観光協会から、我々のねえに賛同していただけるという旨の連絡をいただきました。お話しをさせてい

たいた結果、一般社団法人 三原観光協会と協力し、三原の「ゆるキャラ」実現に向けて、動き出すことが決まりました。これから、来年の誕生日を目指して協議を進めてゆきます。まだ、具体的な進め方などは協議を重ねてゆく必要がありますが、更なる賛同者を集め、協力していきよう多くの市民に愛されるようなキャラクターを誕生させることができるように活動してまいります。



JCI 社団法人 三原青年会議所新聞 第418号 10月号



三原で「フラッシュモブ」Flash mob

三原城落城450年を直前に控えた今、「三原を元気にしたい」そんな思いから企画されました。

楽しいことが好きな方、三原をもっともっと明るく活気溢れる街にしたい。

三原に沢山の思いを持っている方を募集しています。

11月3日(日)開催

浮城祭りにて実施!!

貴殿は「モブ」らないのか?

浮城祭りとは
今蒜、戦国村。
天下の要塞として名を馳せ、
海上に浮かぶ見えることら
「浮城」と呼ばれた三原城をテーマに、
小平川甲子郡隊による
伝統の味わいや、
イベントを展開する。
このほか野良犬能を披露され、
かっての城下町の
雰囲気を楽しめる。

みんなさいだ

二〇一〇年五輪の候補地が東京に決定した。世界のトップレベルで構築された施設なども見事に建設され、東京へ向けての國民的心になってしまった。一方で、五輪開催決定の際に伴う政策の問題などから国際社会から、日本政府が持つべき姿に対する疑問が浮上。それは、政治の良識やインフラの少ないところから、他の候補地よりも不利ではないであります。しかし、このままでは、開催後は、戦後復興時代から経験長へひた走った時代、今は、もう少しの間、我々は、政治が進む方向へ向けて歩くべき道ではないでしょうか。

東日本大震災からの復興支援は、決して簡単な仕事ではありません。福島第一原発事故は、まさに被虐感をもたらす事件でした。福島第一原発は、東日本大震災後も運転を継続していましたが、それが復旧を後押しする、ボリュームの力が復旧を後押しする、といった運営であり、目的や目標ではないです。しかし、一方で、復興支援は、一方で、今までは、日本が抱いていた、自身の故郷、気仙沼にのみ大きな被害を受けた。しかし、福島第一原発の爆発による放射能汚染も含め、復興支援が安全とされるべきであることを確認してから再開する、平和を

迎えたい五輪開催を引き受けた。さあ、スポーツに取り組む人が増えることから、世界中から多くの人が集まるこの秋は、いかがな付箋ではない。運動の秋には、から始めみては良いのではな

本誌「やっさまもっさ」は、1月から11月まで毎月1回(原則25日)発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。

みんなのまちへの意識が上がった!?

フラッシュモブ in 三原

まちの未来選択委員会(原田伸博委員長)は、11月3日(日)に三原駅前広場において、郷土愛をダンスに込めて「フラッシュモブ in 三原を開催いたしました。この事業では、ひとりでも多くの人に三原に対する愛着や興味を持っていたら、未来を変える原動力を生みだすことを目的として開催されました。今月号では事業の様子について報告いたします。



事業を終えて

4月には市長選挙を経て新しい市政が開始され、また歴史的にも三原駅東口450mを目指した節目の年。三原にゆかりのある講師と、三原を想いながら楽曲により構成される新しいツールを活用しつつ、それに決めた思いは「三原をもっと好きになって欲しい」「今ある環境は当たりではなく誰かが作っている。であるなら、当事者意識を持っています」という。皆様の手に持てたかったものでした。現在私たちを取り巻く環境は多くの話を取り上げても多い面倒を併せ持つております。それらに対して私たちが立ち止まることなく、心を一つに勇気を持つ歩み続けなければ、明るい豊かな社会を子ども達に残すことは叶わないと考えます。そのためには市民一人ひとりがリーダーとなり、時にフォローとなり、同時に子ども達にも様々な経験の中での大切さを教えていく必要があります。今回の事業を通じて、お伝えしたかったこれらの想いの一部を感じ取っていただけたら幸いです。

最後になりますが、ご賛同、ご協力いただいた多くの方々に対して厚い御礼申し上げます。

日本全国の大友の市町村で書き込んだ
五年分きいか

理事長御札



2013年度理事長
檜山泰三

私たち社団法人三原青年会議所は1962年の創立以来、明るい豊かなまちづくりの実現を目指し、創立50周年を昨年迎え、新たな気持ちで今後の活動を進めてゆこうと歩み出しました。

本年度は市民自らがまちの未来を考えることで市民意識向上へ繋がるとして、首長による公開討論会、より多くの方にまちの事を考えるきっかけを作るためのインターネットを利用した動画配信サイト「やっささん」を開設いたしました。また、地域の大人と学校、子どもたちの連携により団体や地域の人が子どもたちの成長と共に

育むドミン」を通じての共育力の向上事業の実施。ひとりでも多くの方に三原に対する愛着や興味を持ち、未来の原動力を生み出することを目的とした「フラッシュモブ in 三原を開催いたしました。またメンバーが三原のまちに対する意見交換することでまちづくりの意識向こに向かって、的確な意識と判断力を持ち行動するリーダーとしての資質を向上させる例会等様々な活動を行って参りました。

その成果はすぐに現れるものではありませんが、本年度の活動が未来の三原において明るい豊かなまちになるための一助になれば幸いです。

また年度末も若者らしく変革を恐れず挑戦して参る所存です。

一年間、誠にありがとうございました。

三原市民の皆様に、心より感謝申し上げます。今後とも社団法人三原青年会議所の活動に、暖かいご理解とご支援を賜ります

ことをお願い申し上げます。

うに、自分たちが住み暮らす三原市の今を考え方、市政の面日を間に合わせて、身にあらわすところが豊かなまちとして、まちづくりの市民意識を生まれさせます。

まちづくりに関わる機会に多くの笑顔で満ちています。

それが三原特有のイメージ

多くの笑顔で満ちています。

JCI 社団法人 三原青年会議所新聞 第419号 11月号

発行日: 2013年11月25日

三原JCビジョン

誇り
創

やっさもっさ



市長もゆるキャラに賛同!

行政機関との懇親会
カレーライス会開催!!

三原青年会議所は10月8日(火)に、三原市長とのカレーライス会を開催いたしました。1968年から開催され今回で4回目を迎える我々の事業の中でも、長く続いている事業の一つですが、本年度は4月に市長になった天満市長と今後の三原の未来を語るために話ることで、より良い三原のまちの実現に向け、意見を交換しました。今回は、事前に質問をさせていただき、それに対する回答をいただいた上で、その中から大きく3つの項目に関する意見交換を行いました。

三原JCからの事前質問その1

①資質の高い三原市民づくり

- ・市からの発信をどんどん行なう。
- ・市と市民が共通意識を持てるようにしてゆく。
- ・夢を出して、中長期の目標を定めてゆく。
- ・例えば三原市署でアシタを行なう際に見学が受け出向いて話をしてもよし。
- ・久井町、大和町、本郷町など区域を定めて、テーマを区切って話ををする。

②市民が一体感を感じられるもの

- ・同調してゆくこと。
- ・皆さんの意見を集約してゆけば、一体感に通じる。
- ・スポーツでも一体感を感じる。それが市民大会であり、全国大会である。祭りなども、一体感に繋がる。

本誌「やっさもっさ」は、1月から11月まで毎月1回(25日)発行し、新聞折り込みを中心配布しております。何卒ご愛読ください。

に間違つたところがあるたといふだ。

そこそこ多くの市民がいるといふだ

まちづくに関わる機会に多くの笑顔で満ちています。

それが三原特有のイメージ

多くの笑顔で満ちています。

まちづくりに関わる機会に多くの笑顔で満ちています。

それが三原特有のイメージ

多くの笑顔で満ちています。

まちづくりに関わる機会に多くの笑顔で満ちています。

それが三原特有のイメージ

多くの笑顔で満ちています。

